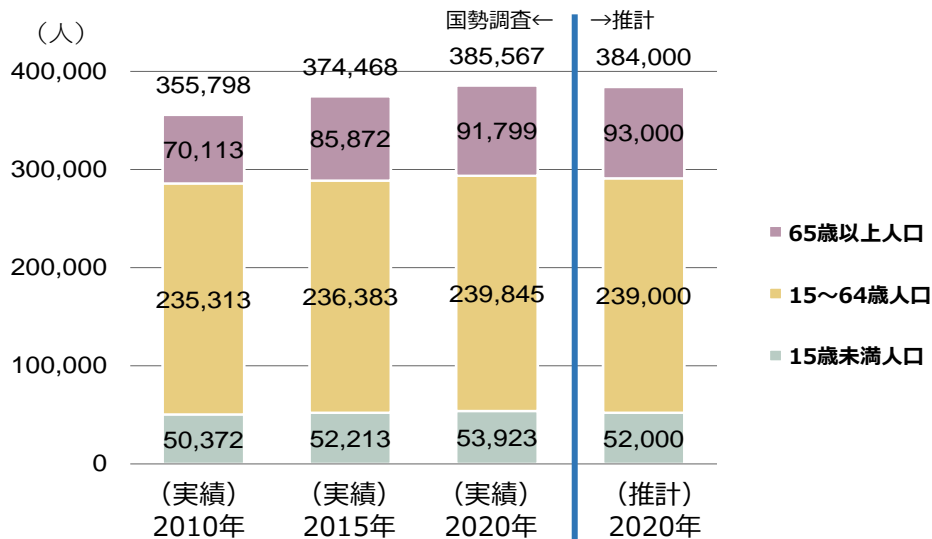


第4次総合計画 進捗状況報告 (R2年度まで)

1 人口推計

- 2020年実績値は推計値よりも総人口で約1,500人上回った。
- 2010年～2020年の10年間で総人口で約3,000人増加している。



大綱	施策指標の進捗 (R2年度実績評価)					
	S	A	B	C	判定不能	S・A・Bの割合
1 人権・平和	0	2	4	3	1	60%
2 防災・防犯	0	2	3	1	0	83%
3 福祉・健康	0	3	10	0	2	80%
4 子育て・学び	0	4	8	1	2	80%
5 環境	0	3	3	0	0	100%
6 都市形成	1	7	2	1	2	77%
7 都市魅力	0	4	6	1	1	83%
8 行政経営	0	4	0	1	0	80%
合計	1	29	36	8	8	80%

2 大綱ごとの進捗状況

- 全指標82のうち、S評価1、A評価29、B評価36、C評価8、判定不能8となった。
- 令和2年度C評価となった指標については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業の参加者数や施設の利用者数といった指標について目標を大きく下回ることとなったことが主な原因。
- S・A・B評価80%で、計画の最終年度には目標を達成する見込み。

【C評価となった施策指標】 ※赤字下線部分が新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によると思われるもの

大綱1：平和祈念資料館の年間利用者数／講演会などへの年間参加者数／自治会加入率

大綱2：消費者向けの講座の年間受講者数

大綱4：生後4か月までの乳児がいる家庭に対し保健師、民生委員・児童委員などが訪問し面談を行った割合

大綱6：自転車通行空間の整備延長

大綱7：文化会館(メイシアター)の年間入館者数

大綱8：職員1人当たりの年間研修受講回数

S：目標を大きく達成している、又は目標の達成に向けて計画以上に進んでいる。
 A：目標を達成している、又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる。
 B：目標を達成していない、又は目標の達成に向けた進捗が少し遅れているが、計画最終年度には目標を達成する見込みである。
 C：目標を大きく下回っている、又は目標の達成に向けた進捗が遅れており、取組の強化が必要である。
 判定不能：調査未実施、調査結果未判明

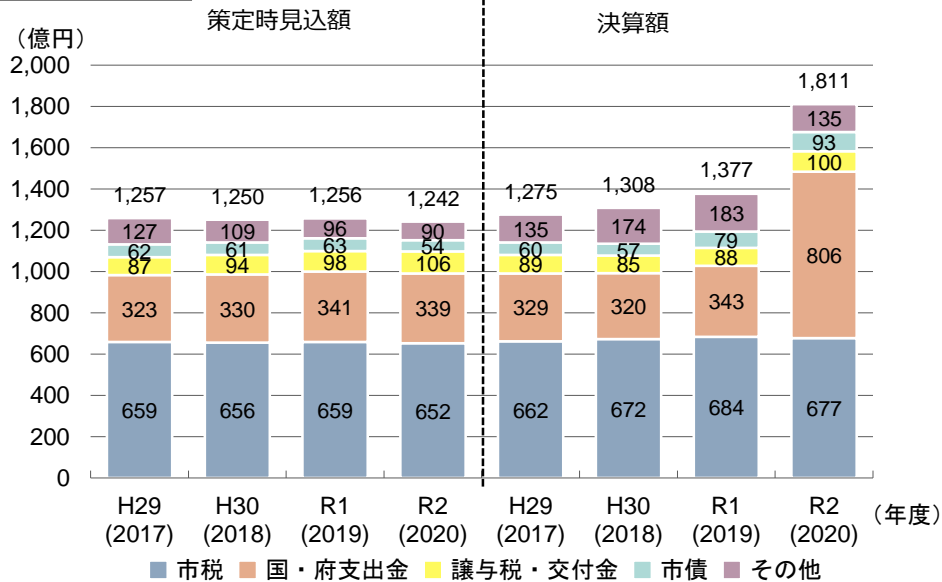
3 財政運営の状況

R2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による収支状況の悪化に対応するため、17億円の赤字地方債を発行したが、概ね目標を達成できている。

経常収支比率は、臨時財政対策債の発行が主たる要因となり、数値の改善が見られたものの、目標達成には至っていない。

指標	策定時 (H28)	R1実績	R2実績	目標
経常収支比率	95.6%	96.7%	95.2%	95%以下
財政調整基金の残高	106億円	134億円	128億円	100億円を確保
公債費比率	7.5%	7.6%	7.4%	10%以下
市債残高の標準財政規模に対する割合	66.2%	72.1%	73.9%	100%以下
赤字地方債の発行	発行なし	発行なし	17.0億円	極力抑制

歳入



歳出

